

OpenBlocks IoT Family向け Samba設定ガイド



Ver.3.3.1

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- ・ 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 使用にあたって

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。
- ・ 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については正確を期するように努めていますが、記載の誤りなどにご指摘がございましたら弊社サポート窓口へご連絡ください。
また、弊社公開の WEB サイトにより本書の最新版をダウンロードすることが可能です。
- ・ 本装置の使用にあたっては、生命に関わる危険性のある分野での利用を前提とされていないことを予めご了承ください。
- ・ その他、本装置の運用結果における損害や逸失利益の請求につきましては、上記にかかわらずいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。

目次

第 1 章 はじめに	4
第 2 章 Samba 設定	4
2-1. Samba のインストール	4
2-2. Samba 起動設定	5
2-3. Samba パケットフィルタについて	6
第 3 章 その他	7
3-1. 外部ストレージとの連携について	7
3-2. ストレージクリーナップ機能との連携について	7

第1章 はじめに

本書は、OpenBlocks IoT Family に搭載可能なファイル共有ソフト(Samba)の使用方法を解説しています。

第2章 Samba 設定

2-1. Samba のインストール

本製品出荷時では、Samba はインストールされておられません。そのため、WEB UI の「メンテナンス」→「機能拡張」タブから Samba をインストールしてください。



WEB UI の「メンテナンス」タブを選び、さらに「機能拡張」タブをクリックすると機能拡張用のパッケージを選択することができます。



インストール機能のリストから「Samba」を選択します。

その後、インストールの「実行」ボタンを押し、インストールを行ってください。

尚、インストール完了後には反映を行うため、本体再起動が必要となります。そのため、「メンテナンス」→「停止・再起動」から本製品の再起動を行ってください。

2-2. Samba 起動設定

Samba のインストールが完了している場合、サービス WEB UI の「拡張」→「Samba」タブに Samba の項目が表示されます。

使用設定を「使用する」に設定し、保存することでファイル共有用サーバーとして扱うことができます。

アクセス用に Samba 用ユーザーとして”obssamba”を用意しております。デフォルトパスワードは”P1atDeb1an”です。セキュリティの観点上、パスワードは変更してください。

OpenBlocks® IoT

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス 拡張 AirManage 技術情報

スクリプト編集 コマンド実行 4MSコマンド実行 SSHトンネル 監視 APIプロキシ Samba

Samba (?)

使用設定 使用する 使用しない

Samba用ホスト名

Samba用ディレクトリパス

認証設定 認証なし Sambaユーザーのみ

操作

パスワード変更 (?)

パスワード

Samba

使用設定：

Samba の使用設定を行います。Samba を使用する場合には、「使用する」を選択してください。

Samba 用ホスト名：

同一ネットワーク内の WindowsPC 等で表示する名前を設定します。

Samba 用ディレクトリパス：

ファイル共有として扱うディレクトリパスを設定します。

認証設定：

ファイル共有先にアクセスする場合の、セキュリティの設定を行います。

認証なし：共有先にアクセスする場合、認証は発生しません。

Samba ユーザーのみ：共有先にアクセスする場合、Samba 用のユーザーのみアクセスできます。

※Samba 用ユーザーとして obssamba を用意しています。

パスワード：

入力フォームに対して、パスワードを設定し変更ボタンを押すことで、Samba 用ユーザー (obssamba) のパスワードが変更可能です。

設定完了後、保存ボタンを押すことにより Samba が起動・停止します。

尚、本機能での書き込み等についてはストレージ寿命を縮めることが想定されます。
そのため、ディレクトリパス先については外部ストレージや tmpfs 等の本体ストレージに
影響のない場所を推奨いたします。

2-3. Samba パケットフィルタについて

Samba のインストールが完了している場合、ファイル共有用のプロトコル通信の為、
Samba のフィルターを開放する必要があります。そのため、WEB UI の「システム」→「フ
ィルター」タブにてフィルターを開放してください。



デフォルトでは Samba 用のアクセスはできな
いようにフィルターが適用されています。

“有効”に設定し、保存ボタンを押してくださ
い。

Attention)

FW.3.3.1 から Samba 機能を「使用する」に設定し保存した場合、フィルタ開放確認
のウィンドウが表示されます。ウィンドウ画面にて適用する旨を選択した場合、自動
でフィルタが恒久的に反映されます。

第 3 章 その他

3-1. 外部ストレージとの連携について

WEB UI の標準機能として、外部ストレージを自動的にマウントする機能が存在しています。ファイルサーバとして扱う場合、一定以上の書き込みが想定されます。そのため、Samba によるファイル共有用の書き込み先については、外部ストレージマウント機能と連携し運用する事を推奨します。

3-2. ストレージクリーンアップ機能との連携について

ファイル共有において書き込み一定以上行い、対象ストレージの使用率が一定以上となるケースが想定されます。WEB UI の標準機能として、ディスクの使用率が一定以上となった場合、特定ディレクトリ配下の一定期間以上前のファイル削除を行うことが可能です。そのため、ストレージクリーンアップ機能と連携し運用する事を推奨します。

OpenBlocks IoT Family 向け Samba 設定ガイド
(2019/03/07 第3版)

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F